

道路に關することを 漫録

池本泰兒

來ない。手當も少なくなる。と云つてゐた。課長は夫れで
も仕方がない。知事の嚴命だから削れとのことだつた。考
へて見ると夫れは修路工夫に關する豫算なのである。

昨年栃木縣に出張した時に土木課長の部屋で課長の御用
の済むのを暫く傍で待つて居たことがあつた。そして其の
用談を聞くともなしに伺つて居ると、それは何か豫算の査
定に就てのお話しらしかつた。そして其のなかから二千圓
削りとれと課長が云はれると屬官の人がそれを削ると一年
置きに配布するハツビを今年は配布が出來ない。昇給も出



ために修路工夫の費用を削るなんて何んと情けないことをするものだらう。寧ろ修路工夫の費用をもつと増額して其の擔當區域を縮めて其の維持に手の廻る様にさせたら今より經濟的に路面が良くなるのぢやないか。栃木縣内の道路は其の主要なるものは殆んど河原を歩く程砂利を敷きつめであるが一步横道の府縣道へ入ると峡谷を通る様に思はれる程骨張つた路商になつて居る。も少し路面維持の方法を考えへなければならない。

新潟縣に糸魚川町と云ふ處がある。其處を通る國道で糸魚川より少し西に寄つた方を受け持つて居る修路工夫がある。名前は遂に聞き忘れてしまつたが、私が其處を通つた時も猿股一つで真裸で働いて居た。然し體格もいゝし、其の皮膚の色は完全にチョコレート色をしてゐて、下手な着物を着て居るよりもずつと美事な格好だつた。普段いつも裸で居るのださうだ。そして仕事に熱心で、とても良く働くのださうである。夏の暑い日炎天で焼けつく路面の仕事をするのには實際着物を着て仕事をするのは骨の折れる事

であらう。或る暑い日此の修路工夫に巡査が着物を着る様に注意したのださうである。處がこの人は持つて居る鶴はしを巡査に渡して少し此仕事をやつて見て呉れといつたとのことである。夫れから天下御免の裸で路面維持に精を出して居るのださうである。吾等も其の意氣には學ぶべきものがある様な氣がする。

山口縣ではこんど女の修路工夫を採用することを試みて居る。之れ迄だつて路面工事に臨時に女人夫を入れることはあるのだがこんどのは常備のものである。給料は男より安いから數を増して擔當區域を縮めることにするさうである。然し未だ試み中だから唯一人しか入れて居ない。服装もどう云ふ風にしたら良いか未だ考慮中だとか聞いた。この様な試みもいゝかも知れない。

失業救濟事業と鋪装工事

本年度の失業救濟道路工事のうちには相當澤山に路面鋪

裝がある。

路面鋪装は相當六難しい工事とされて居る。殊に簡易鋪

装は一層

六難しく

壊れ易い

ものの様

に思はれ

て居る。

私は鋪

装工事は

寧ろ藝術

品である

と云いた

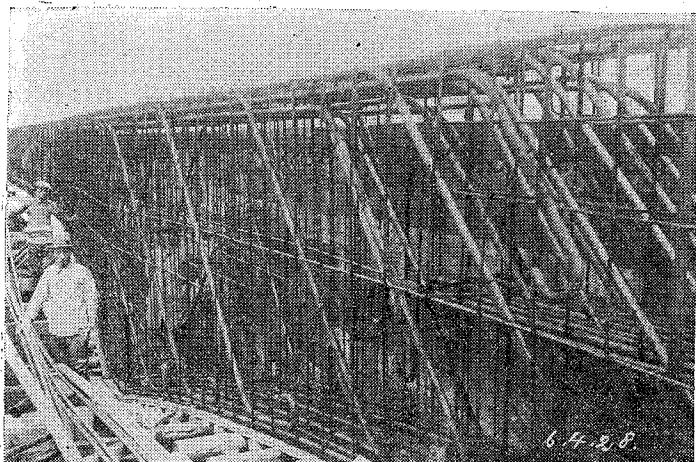
い。施工

者が心血

をそゝい

で吾が子

の生長を祈る程の細心さで施工しなければならないものだ



第一圖 第一

と思ふ。其の仕事にたましいのこもつたものでなければ私は成功しないと云

い度い。

少しでも

其の熱心

さの無い

ものは必

ず壊れる

二 二

と考へる

三 三

御大典の

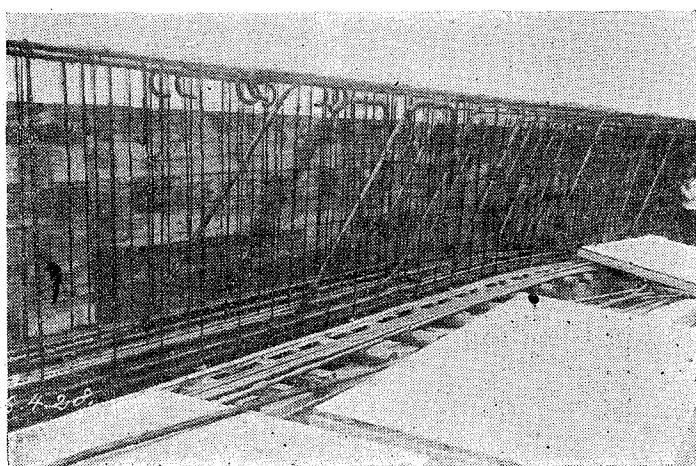
四 時に京都

市と名古

屋市とが

同じ會社

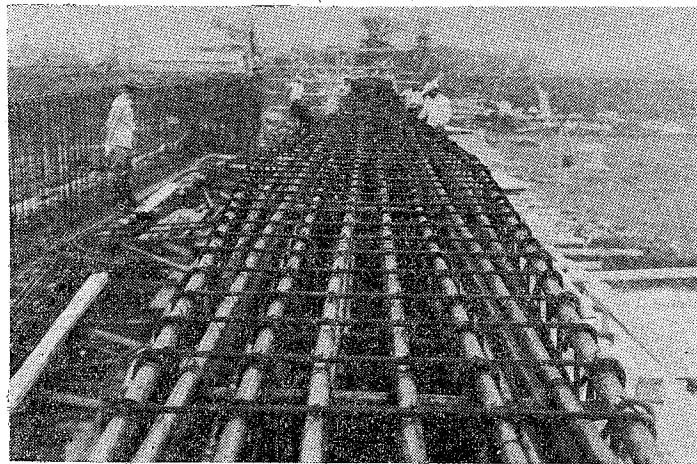
で請負つ



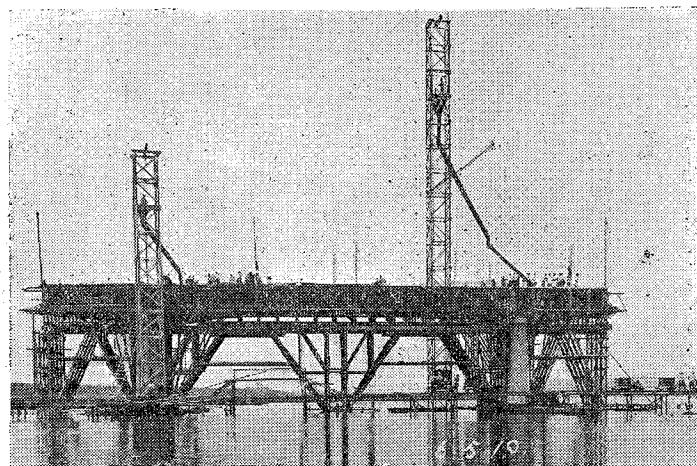
第二圖 第二

て同時に瀝青鋪装を施工した。だが京都市のは立派に出来

て居るのに名古屋のはもう相當壊れた箇所が見える。私は
夫れを施工者的心の入れ方が違つて居たのに起因する
と考へて居る。色々の理由はつけられるものだが。
鋪装の壊れたのを見ると其の施工者の人格がわかると云いたい。だが如何に熱心で
居るのに名古屋のはもう相當壊れた箇所が見える。私は
夫れを施工者的心の入れ方が違つて居たのに起因する
と考へて居る。色々の理由はつけられるものだが。



第三圖



第四圖

あり細心であつても其の鋪装に無智であつては矢張り同じ結果になる。飛行機を運転する者は、機械の、機體の隅々まで熱知し己の身體と同じ様にあつかへる様にならなければ立派な飛行士である。

即ち鋪装には少しの、極く僅かでも投やりのない細心さを要するのである。

若し其處に少しの不注意があればたちまち壞れ初める。

だから鋪装は大難しいといはれるのである。

以上の様な理由から鋪装工事を失業救済工事として施工するには全く鋪装の何物であるかも知らない労働者を使用して行ふのであるから監督者は一層の責任の重大さを持つことになる。私は寧ろ其の鋪装工事に成功するものの稀有でありますしないかを懼れる。かゝることの杞憂であることを望んでやまない。

豆津橋の施工

福岡縣の豆津橋の設計をせられ、目下其の施工の監督をせられて居る田上技師から、其の工事中の寫真を送つて頂いた。實に本橋は突桁式鐵筋混凝土桁橋としては世界一の長大なるものである。設計圖は既に本誌昨年の八月號に載せられたものであるから詳細な構造は夫れを更に御参照願

い度。

施工中の寫真を頂いて獨りで見て居るのも惜しい様な気がするから此處に掲げて共に夫が立派に竣工することを祈る。尙田上技師には更に本橋に關する詳細なる報告書を御公表せられんことを希望してやまない。

第一圖は主桁の橋脚上部の附近をうつしたもので左方に立つのは田上技師である。氏の身長は五尺八寸あるといふのに比して如何に桁の高さの偉大なるかを知られるであらう。第二圖は主桁の反曲點附近の寫真である。第三圖は主桁の一端より他端を見たもので何んと怪偉なものでないか之れ等の寫真を見て感心するのは配筋の實に正確なることである。スター・ラップがダブルになつてゐる其の並べ方、鐵筋の間隔の正確さ、曲上鐵筋の正しい形、列、實に美事なものだ。第二圖の曲上鐵筋はターンバツクルで纏いであるのが見える。

本橋は筑後川に架けてゐるのであるが第四圖は其の中央のものである。一徑間鐵筋量は約廿六噸、混凝土は百五〇

立米だといふ。混合機は十四切練一臺、七切練一臺で全部打ち終るのに連續十五時間要したさうである。此の中央徑間三十米、突桁部分が各々七米二五である。總幅員は六米六である。

かゝる工事は氏の如き研究的の眞に技術に生きやうとする人でなければ到底爲し得ざるものだと思ふ。

立派に竣工せられる様折角の御努力と御健康を祈る。

自然と圖ふ

もう六七年此のかた何時通つて見てもどこかを必ず改修してゐる國道は、神奈川縣の横濱市から箱根に到る區間と新潟縣の直江津町から糸魚川町に到る區間とである。夫れが兩者とも全線に亘たつて片端から系統的に改修するのでなく、少しづゝ何時も何處かをいちくつて居るのである。

神奈川縣のは關東の大震災があつてから夫を機として人家の連携せる町を震害道路改良の國庫補助で改修し初めて夫れから引き續き殘金や何にかで少しづゝ改修してゐる。

もう計畫があつてから相當永いことだし其の話を聞いてゐると殆んど全線改修されてる様に思はれるが、通つて見るとまだ舊東海道を通つてゐる様な氣がする程改修區間が目につかない。だが何時通つてもどこかをいぢくつて居るのだから寧ろ不思議な氣がする。

新潟縣の方は災害復舊費の國庫補助でやつてゐる。親不知といはれる難所が近くにある處で日本海に面した絶壁に沿ふ道路である。土質は赤色の少し固い割れ目の多い粘盤岩である。日本海の海岸は次第に浸蝕されてゐるのでも道路も常に壞される。路面上に中心線に平行に割れ目がありつたと見てゐる間に、ドドツとばかりに海側の百尺にも近い路側が海の方に崩れ落ちて道路は其處で中絶してしまふ。物慘い限りである。或る時其の様な箇所を復舊すべく山側に切り込んで法を切つて居た人夫の乗つて居た地盤がズズツト滑り初め、其の人夫は岩の上で両手を擧げて叫びながら滑り落ち岩と共に路面にあたつて跳ね上り五六十尺下の荒海に落ちてしまつたのである。其の震動で出来

上つてゐた道路面も山と共に崩れてしまつて、そこに働くてゐた人夫達はザアとばかり海に落ちて何か二三人死んでしまつたと云ふ。岩と共に落ちた男は遂に行衛も知れないとか。私が其の現場に行つた時は丁度曇つた日の夕方だつたので灰色の空と、岩に囁み合ふ浪とを、赤膚の絶壁の角に立つて見た時には心も水る様に覺えた。

實際日本海は段々陸地を浸食するので十年ばかり前に砂濱で舟揚場になつて居たと云はれてゐる處も今は絶壁の様になつて其の岩の根まで波が押し寄せてゐる。私は土木工事も、こんなに自然と鬪ふのは無駄だと思ふ。もう二十年もたてば之れ等の道路は總て海の底になつてしまふだらうとも思ふ。然し路線を變更するには何里も山の方に寄らなければならぬし、又壊れない部分を相當長く捨てなければならぬので何時までも海と鬪ふことを止めないのであらう。

尙ほ此道路で悪いのは丁度其の道路の内側に鐵道が通つて居ることである。之れは鐵道を布設する時にもう道路は要な道路を築造する様な費用があつたら神戸市の貧民住宅

らない様に思つたのであらう。在來の道路敷をその儘鐵道敷にしたのである。其の後更に道路を海側につくつたものだから道路の海岸側の防護は全く鐵道への御奉公だ。近頃はあまり馬鹿らしいので海と道路と鐵道と平行して居る箇所の護岸工事は工費を半々にする様に協定したとか聞いた。だが鐵道が隧道で抜けてゐる部分など道路は山側には寄れないし、海はどん／＼せめ寄せるので、必死になつて護岸工事をしながら海と鬪つてゐる。雄々しいと云ふか無駄な事だと云ふか涙が出る。

二つのドライブウェイ

本年の五月に私が關西に出張した時、神戸市郊外の六甲山に於けるものと奈良公園に於ける奥山のドライブウェイとを見た。夫れを少し書いて見たい。

六甲山ドライブウェイの方は話だけはもう二三年も前から聞いて居た。縣會で『あの様に贅澤な有産階級のみに必要な道路を築造する様な費用があつたら神戸市の貧民住宅

地の改善でもしたらどうか。其處に井戸の一つも堀つてやつたらどうか。』と云ふ様な議論がせられたとも聞いた。此處の道路は縣費で開鑿せられたのと神戸市に屬するものとある。産業に關係のない道路を今の様な時期に開鑿すると云ふ事は尙考慮して見る豫地はある様に私も考へる。

六、甲山は別荘地である。其の頂上には澤山の別荘がある。ホテルも出來てゐる。ゴルフリンクスもある。私の登つた時はお天氣が良かつたので其の眺望はとても美しかつた。神戸市や港や澤山の汽船がはつきり見えた。ゴルフリンクの芝生が滑かに起伏してゐて、其の間に美しいコツティジが建つてゐる。西洋人のものが多いで聞いた。道路も何もない時にこんな急な山の頂きに家を建て、住むことを考へつくるものは西洋人に限るやうだ。だが今になつて見ると何んと別荘地として理想的な處だらうと誰でも思ふ。今では乗合自動車で八十錢で登られるとのことだが私は此處に一般神戸市民が澤山登るだらうかどうかを考へて見た。景色のいい山だ。交通は便利であるから登らうとすれば少し

暇さへあれば登られる。然し私だけの考へではあの山の空氣は餘りに貴族的である。此の山に登つた者はきっと誰でも大きな金持の邸宅か別荘の堀の傍を歩く時に感ずるものと何とも云へない氣持ちと同じものを感するに違ひない。お金持ちでなければもう二度と登り度くないと思ふに違ひない。勿論私も特別の用事でもなければもう將來再び之れに登つて見やうとも思はない。

道路は急な山だから非常に屈曲が多い。勾配も八分一位のが多い。山の切取面の岩が今でもざらざら落ちてゐる。路面は砂利道で、勾配が急だから砂利は落ち着かない。駒止めは全線に設けてある程おそろしい片切りの道路である。こんな勾配の道路だが、自動車はザツノと砂利をかむ音を出しながら登つたり降りたりして居る。自動車がブレイキを掛け止らうとしても、滑り落ちると云ふ様な勾配は何分一か私には解らないがこの道路を通つて感ずるのはこの勾配でよくも自動車はこんなに樂に登り降りが出来るものだと云ふことである。自動車は強よい。自動車道と

しては勾配は相當急でもいいものだと思ふ。この道路に登

れるものは、歩行者と自動車位のものでないかと思ふ。幅員は約二車線である。この道路を降り切つた處に阪神國道の幅員一十七米の砥の如き瀝青道がある。ひやくと膽を冷しながら六甲山から降りて阪神國道に出ると實際ホツとする。萌え出でた新綠の並木のあるこの道路を時速四十五哩の速力で大阪まで走つたんだが實に安慰で、いゝ氣持だつた。大阪市の道路は交通がとても混雜して居た。

六甲山のドライブウェイは何か西洋臭がある様に思つたが奈良公園の奥山ドライブウェイは純日本式である。奈良公園の境内は奈良市と並んであるが其の面積よりも大きいさうで縣廳にも公園課と云ふのがあつて其の經費は公園内の故損木の拂下に依るもので充分であると云ふ。公園内に春日神社や東大寺や正倉院や三笠山やこの奥山などがある。私は隨分日本中歩いても見たが三笠山や東大寺の様に立派なものを今まで見たことが無かつた。又あの邊の氣持の良い空氣を今まで感じたこともなかつた。日本なるかな

と思ふ。奈良公園は實際日本の公園である。

奥山のドライブウェイは延長約三里あつて幅員は二車線に足りないので自動車は必ず一向向にのみ通る。沿線は大木の密林である。箱根の杉並木程の大きな杉や檜や其の他種々の珍らしい樹木が空も見えない位に繁つてゐる。之れに入る自動車は總てオープンにして居る。乗合も通つて居る。一般の自動車は一度通るのに五十錢の通行料をとられる。道路の維持費にするのださうである。賃取道路である。

沿線は樹木がいゝばかりでなく鹿がゐたり猿が居たりする。猿が群をして道路の上で遊んで居ることもあるさうだが私はそれを見なかつた。道路を造るにも、出来るだけ木を切らない様にして、木の間を縫つて造られたので相當屈曲も甚しく、見透しの短い曲線も多いが、自動車は一方向のみに走るのだから差し支へはない。木が鬱蒼と繁つてゐるので展望は丸できかない。時に三笠山と奈良平野がチラリと見える位で大部分樹木の隧道をくぐる氣持ちである。こゝには萬葉集にうたわれた植物を全部集めてある植

物園もある程で珍らしい植物も澤山あり又夫を觀賞する事が出来るさうだが、私にはその方面的知識がないので道路ばかり見て居た。工費は大阪電軌が寄附したものださうで十二萬圓かゝつたとか聞いた。乗合も大軌のものである。

私は六甲のよりこゝのドライブウェイが好きだ。又誰にでもこれを見られる様にお奨めする。路面は砂利道だが常に適當に濕つてゐるから他の鋪装道路よりしまつてゐて氣持ちがいい。奈良はいゝものを持つてゐる。

地方廳を訪れて〔一〕

記者

はしがき

昔から賢君名主と謳はれた人は地方行脚に出て民情を視察し夫れに依つて得た實情を基礎にして國策を接したものだ、政治は實際からかは知らないが、國家的一般利害を考察して施政せなければならぬ中央政府でも、矢張り吾々の生活に直接する地方政治の實情を知悉して、夫れに是非の判断を與えて進むべき方針を樹てねば空虚な政治と爲るのである。明治から大正へかけての役人、殊に中央に巢喰ふ官吏は何も地方民生の實際を見なくとも施政の方針は樹つものだ、夫れが出來ない位なら官に就く能力がないのだ、なぞと意張つたものちや、今でも此型の役人が居ないとは言はれないが、兎も角是等の連中のお蔭で國民生活の實際に疎い形式法律が持えられ、其の法律がある爲に苦まなければならぬやうに爲つた。夫れを改めて民生に即した新らしい政治をするには地方民の實際生活を見るに限る、事務官が理論的に色々なことを發案しても、時に政務官の主張する俗論に敗けることのあるのも、矢張り地方の實際を知らないことに胚胎する禍だ、筆者は此様な考から地方行脚に出かける氣に爲つた、見る的は爲政者と政治とであるが夫れも商賈柄路政を中心にして。